

# 吹連いばらき

発行所 茨城県取手市山王1000  
 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校内  
 一般社団法人 茨城県吹奏楽連盟  
 電話 0297-63-5120  
<http://www.iba-sui.jp/>  
 発行人 代表 武藤隆行  
 印刷所 山三印刷株式会社



「第25回東日本学校吹奏楽大会」水戸市立第一中学校  
 (山形・やまざん県民ホール) 写真提供: (株)フォトライフ

本県の吹奏楽連盟加盟団体数は約370団体を有しております。県内の音楽団体としてはもちろん最大であり、全国で見ても10番目に大きな規模になります。しかし数年前には400団体を超える組織でした。

加盟団体数減少の要因は、まず少子化が進んでいることが挙げられます。中学生・高校生編成バンドが減少し、B編成を組むことも難しい団体が増えています。また部活動の地域展開により、小学校単位の吹奏楽活動が減少していることもその一因と言えるでしょう。

こうした時代の変化に連盟としてどのように対応し、楽器を愛好する素晴らしさを児童、生徒たちの若い方々へ伝えていけるかが大切であると思っております。

時代の変化とともに吹奏楽界を取り巻く環境も大きく変わってきている現在、本連盟として何ができるかその役割を担っていきけるよう努力していきたいと考えています。

さて、そんな厳しい時代の中、令和7年度、本県の団体が東関東支部の代表として活躍いたしました。小学生では水戸市立石川小学校が大阪城

ホールにおいて開催された第44回全日本小学生バンドフェスティバルに出場し、見事、3年連続となる金賞を受賞するという快挙を成し遂げました。中学生では水戸市立第一中学校が2年連続となる第25回東日本学校吹奏楽大会に出場し、令和7年度は金賞を受賞しました。

また全国大会に惜しくも進むことはできませんでしたが、地域バンドとしてコンクールとアンサンブルコンテストに参加された三和ユナイテッド吹奏楽団が両大会ともに本県代表として東関東大会で活躍したことも地域展開における新しい取り組みの成果と言えると思います。

各団体ともに本県の代表として素晴らしい演奏・演技を披露したのは勿論のこと、そこに至るまでの日頃の努力と児童、生徒の皆さんを支えてくださった保護者の皆様と地域の方々に心より賞賛を送りたいと思います。

楽器を奏でる喜びを多くの人と共有できる吹奏楽。その素晴らしい響きがこれからも県内各地で演奏されることを願ってやみません。

今後とも皆様のご協力を心よりお願いいたします。



新たな時代に向けて

理事長 武藤隆行

# 一年を振り返って

## 貪欲という名の原動力

茨城県立鎌田第一高等学校・附属中学校

市村 真弓

3年前、私は本紙で「自分は貪欲な女だ」と記しました。目標があれば必ず手に入りたい、そして達成すれば、さらに上を目指したくなる。その性分は、今も変わっていません。

当時、中学生の部員数は、2年生1名、1年生3名でした。2年生は高校生のコンクールに参加することが決まっていたため、「翌年、中学1年生が2年生となり、新入生を加えて5名体制が整ったら、コンクールに挑戦しよう」と方針を定めました。

令和6年度、幸いにも3名が入部し、計6名で県東地区大会に出場することができました。編成は木管4名、打楽器2名。入部から2か月しか経っていないクラリネットとテナーサクソフの音は、まだ拙いものでしたが、そのような状況の中で優秀賞をいただくことは、部員にとっても指導者にとっても大きな希望となりました。

## 地域に愛され、必要とされる吹奏楽団を目指して

取手交響吹奏楽団

荒張 健司

取手市を拠点に活動している取手交響吹奏楽団は、令和8年に創団24年を迎えました。団員は取手市近隣の市町村をはじめ千葉県、埼玉県からも集まり、高校生から社会人・主婦まで現在約95名で活動しております。

取手交響吹奏楽団の年間の活動として4月の定期演奏会と8月の吹奏楽コンクールを大きな2本の柱としておりま

それから一年、高校生は東関東大会出場、中学生は県大会出場を目標に掲げ、歩みを進めてきました。本校では中学生も高校生と同じ練習に参加し、高校生が自然と中学生を支えています。また、卒業後何年も経った先輩方の継続的なご指導も、部活動の大きな力となっています。このように多くの方々の支えのもと、中学生の部B部門で東関東大会金賞をいただくことができました。心より感謝申し上げます。

部活動は社会の縮図です。音楽を通して得た経験が、生徒一人ひとりの人生を支える力になることを信じています。そして、現状に満足することなく、より高い水準を目指し続ける姿勢をもち続けたいと考えています。貪欲であることを原動力に、感謝の気持ちを忘れず、歩みを止めることなく、前進してまいります。



加えて令和7年度は中学校部活動地域展開への協力として5月取手市内の中学校、高校と合同バンドを結成し取手JAZZフェスティバル出演、6月に龍ヶ崎市内の中学校対象の楽器別講習会と合同合奏、その他に取手市、牛久市の中学生が取手交響吹奏楽団の練習会場にお越しいただき合同練習、龍ヶ崎市、守谷市の中学校に向いての新年1年生対象の初心者講習会等を行ってまいりました。指導を通して交流をした中学生や保護者の皆様、取手交響吹奏楽団の演奏会にご来場いただき



いたり、将来的にはその中学生たちが入団してくれたりしたら、私たちとしても大変嬉しいことです。「私たちに出来ることがあれば」今後も部活動地域展開へ積極的に協力していく所存です。

また、依頼演奏も多かったです。毎年恒例となっている取手競輪場で開催されるフェスティバルや市内の各施設や幼稚園・保育園などで演奏させていただきました。演奏会場が小さい場合は、フレキシブルのミニ吹奏楽として参加するなど創意工夫し、多くのお客様に演奏を楽しんでいただきました。

「地域の皆様に愛され、地域の皆様に必要とされる吹奏楽団」であり続けるため、これからも日々の活動、練習を頑張ってまいります。

## 三和の音が一つに響くとき

三和ユナイテッド吹奏楽団

竹村 衣吹

近年、多くの学校で吹奏楽部員が減少しております。私たちの地区でも各校の部員数が減ってパートバランスを保てず、少人数のままでは吹奏楽の「豊かなハーモニー」を生徒が十分に経験することは難しい状況にありました。そのため、地区の中学校が協力して、大人数で演奏する吹奏楽の本来の楽しさを味わわせるとともにコンクールで上位大会を目指すことを決意しました。

令和6年9月に三和地区の中学校3校で合同活動を開始しました。最初は手探りながら、老人ホームでの依頼演奏で合同バンドがデビューし、月1回程度の合同練習で音と心を合わせていきました。その後令和7年4月に「三和ユナイテッド吹奏楽団」として正式に発足しました。

学校の垣根を越えた挑戦は容易ではなく、休日は練習場所を各校でローテーションしたり楽器運搬や環境の違いに戸惑ったり、平日の練習や学校行事では再び各校での少人数演奏に戻る必要があった

り、生徒の気持ちや指導者間のすれ違いが生じるなどの困難がありました。

しかし、3校が一堂に会することで普段味わえないサウンドを生み出す喜びを共有できるようになりました。指導者側にとっても、顧問が複数いることで多角的な指示やサポートが可能になり、専門外の楽器について助言し合えたことや、一人で抱え込まず常に相談しながら進められたことが大きな心の支えになりました。

こうした試行錯誤と努力が実を結び、合同活動開始からわずか1年で吹奏楽コンクール東関東大会出場という成果を得ました。

今後、この1年で得られた経験と絆という財産を糧に、地域に響く音楽を大切に育ててまいります。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 考え、動き、響き合う部活動

日立市立多賀中学校  
菅野 浩史

私は多賀中学校に赴任してすぐ、吹奏楽部の顧問を担当させていただきました。吹奏楽顧問としての指導は初めてで、期待と同時に大きな不安と緊張を感じていました。今でも鮮明に覚えています。

指導する中で、生徒たちに大切に伝えてきたことは、与えられた課題に対して自分で考え、自ら行動することです。近年、部活動の時間は短縮され、十分な練習時間を確保することが難しくなっています。だからこそ、限られた時間を有意義なものにするため、生徒一人一人が主体的に考え、行動する力を育てたいと考えてきました。練習では、全体練習よりもパート練習の時間を多く取りました。指示がなければできないのではな

いかという不安がありました。生徒たちは次第に自分たちで課題を見つけ、工夫しながら練習を進められるようになっていきました。部員数は全体で24名と決して多くはなく、一人しかいないパートもありました。少数には、一人一人の役割が明

確になり、互いの音を丁寧に聴き合いながら表現を深められるよさがあります。一方で、多くの仲間と音を重ねる経験が限られてしまうという課題もありました。そこで、「一人一人の技術を高め、少数でできる最高の演奏をする」ことを目標に練習を重ね、東関東吹奏楽コンクールに出場することができました。



### 音楽と共に歩んだ、子どもたちとの一年

ネモフィラ吹奏楽団  
豊田 紀子

吹奏楽の地域展開という新たな取り組みが始まり、あっという間に2年が経ちました。私たちの団体は、令和6年度に立ち上げ、学校という枠を越えて、地域で子どもたちの音楽活動を支えていくことを目的にスタートしました。手探りの状態からの出発でしたが、多くの方の協力和理解に支えられ、活動を続けることができました。

地域展開という新しい体制の中でも、コンクールという大きな目標に挑戦し、子どもたちはひとつひとつ経験を積み重ねてきました。小学生バンドフェスティバルでは県大会で金賞を受賞し、東関東大会へ出場することができました。子どもたちが舞台上に立ち、これまでの努力を音で表現する姿は、私たち大人にとっても大きな感動でした。また、アンサンブルコンテストでは金管三重奏が金賞を受賞し、一人一人が音楽と真剣に向き合った成果を実感することができました。

現在、団体の運営は保護者

主体で行っています。練習の調整や会計、連絡事項など、大変なことも少なくはありません。しかし、子どもたちの成長を間近で感じながら、同じ思いをもつ仲間と協力し合えるこの活動は、苦労以上に楽しさとやりがいがあります。私たちは、単に演奏技術の向上だけを目指しているわけではありません。音楽を通して、努力することの大切さ、仲間を思いやる心、最後までやり抜く力を育んで欲しいと願っています。これからも地域の力を生かし、子どもたちのために、そして音楽を通して人間形成の場としてこの活動を大切に育てていきたいと思



# 各事業部の活動

## コンクール事業部

加藤 勝弘

令和7年度の吹奏楽コンクールにおきましては、地区大会の開催基準を明確化いたしました。小学生の部、高校生の部A部門、大学の部、職場・一般の部において、参加申込数が開催基準を超えませんでしたので、地区大会としての予選を実施いたしませんでした。上記以外の部門に関しては、基準を超えませんでしたので、地区大会として予選を実施いたしました。

また、部活動の地域展開が進んでいく中、多くの地区や学校で、新しい取り組みがなされていることと思います。その状況の中、茨城県吹奏楽コンクール中学生の部A部門で、三和ユニテッド吹奏楽団が、地域バンドとして出場し、東関東吹奏楽コンクールで素晴らしい演奏を披露いたしました。この実績は、大きな成功例として、今後の指針となることと思います。今後、吹奏楽活動が、豊かで幅広い活動の機会となるよう、地域を含めて連携していきたいと思えます。

## アンサンブルコンテスト事業部

足立 靖明

令和7年度のアンサンブルコンテストは11月14日の地区大会を皮切りに、各地で熱演が繰り広げられました。今大会より規定を改め、「高等学校部門」として開催し、合同バンドや地域バンドでの出場が可能となりました。部活動の地域展開や少子化という昨今の社会状況にも負けず、少人数でも音楽を愛好し続けていただければ幸いです。

一方で、大会の演奏を拝聴すれば、部活動改革で活動に制限が課されている中とは思えないような、すばらしい演奏の数々を耳にすることができました。工夫を凝らして練習に取り組み、音楽を追究された出演者や指導者の皆様に対して敬意を表します。最後に、各団体関係者、係員、補助員の皆様に支えていただき各大会を無事に運営できましたこと、この場を借りて深くお礼申し上げます。また、今後の大会運営へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## マーチング事業部

松崎 佳介

令和7年度は、東関東小学生バンドフェスティバル&マーチングコンテストの主管及び前年度から継続している部活動改革への対応等を主な課題として取り組んでまいりました。

東関東大会の運営は、大きな懸念事項であった会場環境の課題（メインフロアが2階にあること）と、想定以上の大渋滞（秋季高校野球の好カード試合が同時開催されること）の解決が思うようにいかず、参加団体に多大な迷惑をおかけすることになってしまいました。それにも関わらず、大きな事故もなく、無事終了できましたのも、参加団体の協力と、お忙しい中係員をお務めいただいた皆様のお陰です。誠にありがとうございました。

部活動改革への対応には、大変苦慮しております。現状としては、少子高齢化社会の進行に加え、活動時間が大幅に制限され、地域展開も地域格差が際立ってきている印象を受けます。人数も減り、コンクールやアンコンといったいわゆる「座奏」の活動時間の確保すらままならず、マーチング活動との両立が困難だという悲鳴が聞こえてきます。しかし、私たちは、子どもたちの「マーチングもやりたい」という意欲に、何らかの形で応えなくてはなりません。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

## 財務部

内藤 良

令和7年度の財務部活動をご報告いたします。

令和3年に一般社団法人となり、県と各地区の財務を統一的に管理できるよう整備を進めてまいりました。これまでの取り組みにより、財務運営全体を透明性高く見通すことができるようになりました。

物価上昇に伴い経費が増大する中、吹奏楽コンクール、マーチングフェスティバル、アンサンブルコンテストの各事業や、各地区独自の活動について、求められる活動内容と経費のバランスを如何に図るかが課題となっており、より効果的な運営を行う段階へと進んでおります。

今後、人口減や部活動の地域展開などの環境変化が進む中で、変化に柔軟に対応し、持続可能な吹奏楽活動が県全体で盛んに行えるよう、財務の観点から継続的に検討を行なってまいります。皆様には、県ならびに各地区の運営に対して、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 大学・職場一般事業部

中澤 修史

平成29年度の組織改編により発足した当事業部は、市民バンドフェスティバルの事業を担当しています。

11月30日鹿島勤労文化会館で行われた市民バンドフェスティバルでは、「五色霜林」のテーマのもと6団体が出演し、合同バンドの演奏と単独バンドの演奏に続き、最後は出演者全員による大合同バンドの演奏で締めくくることができました。

この伝統的なスタイルはほぼ変わらず踏襲されており、バンド同士の良い交流の場にもなっています。事業部としては伝統を大切にしながら、次世代に引き継げる演奏会を目指したいと思えます。今回の演奏会を取りまとめいただいた鹿島吹奏楽団の清水委員長をはじめ、県東地区の皆様のおかげで素敵な演奏会を行うことができたことに、感謝申し上げます。今後とも大学・職場、一般事業部へのご理解とご支援、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

# 各地区の活動

## 県東地区

成田 啓毅

令和7年度も、地区主催の事業を無事に終えることができました。関係者の皆様に深く感謝いたします。

1年間を振り返り、様々な事業を円滑に展開することができました。

初心者講習会は、今年度も「Blue Rose（ブルーローズ）」の皆様を講師として招き、一会場に集約して開催しました。生徒たちは、現在活躍している演奏家の音色を肌で感じ、よい刺激を受けることができました。

次に、コンクール、アンサンブルコンテストも例年通り実施することができました。

また、指導者講習会、吹奏楽祭も実施し、実り多い1年となりました。吹奏楽祭の出場団体の中には、部活動の地域展開も相まって、合同で参加するチームも増え、他校や地域とのつながりを強く感じることができた有意義な行事となりました。運営に携わっていただいた方々に深く感謝申し上げます。今年度は、部活動の地域展開について深く考える1年となりました。今後の事業の在り方について、議論を進めていかなければならないと感じております。

## 県南地区

郷 恵子

令和7年度も加盟団体の皆様のご理解とご協力により、各事業を無事に開催することができました。

特にコンクール地区大会におきましては、中学生の部A部門の出場団体数が昨年より10団体増えたことにより、これまで2日間に分けて開催していた中学生・高校生のB部門をそれぞれ1日で開催することができました。令和7年度は事前に部門申し込みがあったおかげもあり、特に混乱することなく対応することができました。A部門へ挑戦する団体が増えたことで、より多くの生徒がステージに立つ機会につながったと思います。

また、指導者講習会では、「日々」の練習を見直そう」ということで、坂本正道先生（大岩田小）、座間亜紀子先生（利根中）、森田理沙先生（竜ヶ崎一高）の三名の先生方に普段の取り組みについてご話いただいた後、参加者の皆さんで分科会を行いました。県南地区は加盟団体が多い地区です。だからこそ、細やかなコミュニケーションが図れるような取り組みを今後も取り入れていきたいと思っております。

## 県西地区

稲毛田 一輝

令和7年度も、加盟団体の皆様のご協力により、県西地区では充実した活動を行うことができました。その中から主な取り組みを二つご紹介します。

### ①楽器別講習会

9月27日、古河第三高等学校を会場に、中・高校生を対象とした楽器別講習会を実施しました。講師には、茨城県出身の若手音楽家を中心とした「Blue Rose（ブルーローズ）」の皆様をお迎えし、330名の生徒が参加しました。当日はパートごとに分かれ、基礎的な奏法から良い音を出すための練習方法まで、実践的で丁寧な指導を受け、生徒たちは熱心に取り組んでいました。

### ②リーダー講習会

12月13日、境第一中学校を会場に、加盟団体の代表部員を対象としたリーダー講習会を実施しました。講師に甘粕宏和先生をお招きしました。今年度は実際のフレキシブル譜を使用しながらバンドトレーニングを行っていたとき、リーダーとして求められる基礎的な演奏技術の習得とともに、地区全体のレベルアップを図る有意義な機会となりました。今後も、県西地区の吹奏楽活動のさらなる発展に向けて、加盟団体の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 県北地区

門三野 洋平

令和7年度も、各加盟団体ならびに関係者の皆様の多大なるご理解とご協力により、すべての事業を無事に終えることができましたことに、心より感謝申し上げます。

近年、吹奏楽コンクールへの合同参加や、アンサンブルコンテストへの地域バンドの参加など、社会状況を反映した新たな動きが見られるようになってきました。

令和8年度からは、部活動の地域展開が「改革実行期間」に入ります。部員数の減少も相まって、部活動の在り方や価値観そのものが大きく変化していくことが予想されます。県北地区においては、これまで市民吹奏楽団や文化施設、各市教育委員会と連携し、合同練習会やコンサート等の取り組みを重ねてまいりました。今後も各方面と連携を深めながら、音楽を愛する子どもたちが継続して活動できる「持続可能」な環境づくりに邁進してまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 中央地区

桑名 洸典

令和7年度も、諸大会等の運営など、多大なご協力を賜りました各加盟団体の皆様、心より御礼申し上げます。

吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストでは、活動時間の縮小等の背景がある中でも、さまざまな工夫を凝らし、奏者が生き生きと演奏する姿が見られました。また、各種講習会にも多くの方にご参加いただき、専門的な講習に加えて、若い奏者同士の交流も促進され、盛会のうちに終了いたしました。

令和8年度は、部活動改革や、各地域バンドの動向に注目しつつ、大会運営のあり方等について柔軟な対応を目指してまいります。このような時代だからこそ、これまでの取り組みが、惰性で無理に継続する活動とまらないよう、「長い目で見た吹奏楽文化の継続・発展」について、中央地区の立場からどのように貢献できるのか、私たちに精一杯考えてまいります。これからも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 大会の記録

※下線は代表団体

u003c/div>

▶第65回茨城県吹奏楽コンクール  
 第62回茨城県小学生バンドフェスティバル(ステージ部門)  
 地区大会(県東)7月20日 神栖市文化センター (県南)7月25日~27日 大昭ホール龍ヶ崎  
 (県西)7月26日27日 坂東市民音楽ホール (県北)7月19日20日 常陸太田市民交流センター  
 (中央)7月26日27日 ひたちなか市文化会館  
 県大会 8月8日~12日 水戸市民会館 グロービスホール

	金賞	銀賞	銅賞
小学生の部			
朝日賞 三の丸	常磐、千波、三の丸、村松、笠原		
小学生BF(ステージ部門)			
朝日賞 阿見	ネモフィラ、大岩田、阿見、水海道		
中学生の部A部門			
朝日賞 谷田部東	佐野、東海、谷田部東、三和ユナイテッド、結城、大子、御所ヶ丘、伊奈、金砂郷、けやき台、大久保、鹿島、並木中等、勝田一	土浦二、谷和原、下稲吉、朝日、土浦三、取手一、城ノ内	
中学生の部B部門			
朝日賞 水戸一	大島、境一、手代木、水戸一、鉦田一附属、青葉、古河中等、結城南、取手二、水戸二、水海道西、多賀、泉丘、古河一、土浦一附属、下館南、磯原、水海道、麻生、勝田二、吾妻、笠原	竜ヶ崎一附属、龍ヶ崎、中郷、旭・鉦田北、鉦田南、戸頭、小川南、古河三、春日学園、土浦五、北浦、学園の森	
高校生の部A部門			
朝日賞 常総学院	取手聖徳女子、霞ヶ浦、常総学院、茨城、大成女子、土浦二	明秀学園日立、日立一、水戸一、茨城キリスト教学園	藤代、竹園、水戸二、那珂、境、日立商業
高校生の部B部門			
朝日賞 水戸三	並木中等、水戸三、佐和、古河三、水戸女子、緑岡、常磐大、下館一、下館二、牛久、東江戸川学園取手、下妻一、竜ヶ崎一、鉦田二	洋大牛久、牛久栄進、古河中等、多賀、土浦一	取手二、水海道一、水戸桜ノ牧、清真学園、日立二、鹿島
大学の部A部門			
朝日賞 茨城	茨城、筑波	常磐	茨城高専
職場・一般の部A部門			
朝日賞 Lueur	日立市民、水戸市民、ひたちなか交響、古河シティ、Lueur、ひたちなかフィル、水戸交響	取手交響、水戸三高OB	常陸太田市民、愛♡I、土浦

▶第31回東関東吹奏楽コンクール  
 第24回東関東小学生バンドフェスティバル(ステージ部門)  
 高A 9月6日 中A 9月7日 カルッツかわさき  
 高B 9月13日 小学・小BF 9月14日 宇都宮市文化会館  
 中B 9月20日 大、職・一 9月21日 水戸市民会館 グロービスホール

小学生の部		千波、三の丸	常磐、村松
小学生BF(ステージ部門)			
朝日賞 阿見		ネモフィラ、水海道、大岩田	
中学生の部A部門		谷田部東	東海、三和ユナイテッド、佐野
中学生の部B部門			
朝日賞 水戸一、鉦田一附属		水海道西、古河一、多賀	境一、大島、手代木、泉丘
高校生の部A部門			
朝日賞 常総学院		茨城	取手聖徳女子、霞ヶ浦
高校生の部B部門			
朝日賞 水戸三、古河三、並木中等		水戸女子、江戸川学園取手	佐和
大学の部			
朝日賞 茨城			筑波
職場・一般の部		古河シティ、水戸市民、Lueur	日立市民、ひたちなか交響、ひたちなかフィル

▶第25回東日本学校吹奏楽大会 中学生 10月11日 小学生・高等学校 10月12日 山形・やまぎん県民ホール

中学生部門	水戸一		
-------	-----	--	--

▶第73回全日本吹奏楽コンクール  
 中学生 10月18日 高等学校 10月19日 栃木・宇都宮市文化会館  
 大学 10月25日 職場・一般 10月26日 新潟・りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館

▶第62回茨城県マーチングフェスティバル 8月24日 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

B部門中学生の部			
朝日賞 A部門高校生以上の部	岩瀬西		
朝日賞 大成女子	大成女子、大洗		
小学生BF(フロア部門)			
朝日賞 石川	浜田、石川		

▶第24回東関東小学生バンドフェスティバル(フロア部門)・第31回東関東マーチングコンテスト 10月5日(日)ひたちなか市総合運動公園総合体育館

小学生BF(フロア部門)	石川	浜田	
マーチングコンテスト			
B部門中学生の部			※岩瀬西 出場辞退
A部門高校生以上の部	大成女子		

▶第44回全日本小学生バンドフェスティバル(フロア部門) 11月22日(土)大阪城ホール

	石川		
--	----	--	--

<http://www.iba-sui.jp/>

▶第60回茨城県アンサンブルコンテスト			
地区大会 (県東) 11月15日、16日 神栖市文化センター (県南) 11月14日～16日 小美玉市生涯学習センター		(県西) 11月22日、23日 坂東市民音楽ホール (県北) 11月15日、16日 常陸太田市民交流センター	
(中央) 11月14日～16日 常陸大宮市文化センター			
県大会 12月19日～21日 牛久市中央生涯学習センター			
	金 賞	銀 賞	銅 賞
小学生部門 朝日賞 村松 (金六)	村松 (木三)、三の丸 (木五)、常磐 (木五)、笠原 (金八)、村松 (金六)、三の丸 (管七)、笠原 (金七)、常磐 (金四)、ネモフィラ (金三)、阿見 (金八)	ネモフィラ (木八)、常磐 (打三)、千波 (打三)、村松 (木四)、千波 (木八)、千波 (金八)	水海道 (打四)、水海道 (金六)、水海道 (金八)
中学生部門 朝日賞 並木中等 (金八)	愛宕 (打三)、並木中等 (CI 五)、水海道西 (打三)、下館南 (CI 四)、並木中等 (金八)、太子 (打四)、三和ユナイテッド (打七)、銚田一附属 (木七)、千波 (木三)、水海道西 (Sax 三)、水戸一 (FI 三)、東海 (木八)、土浦一附属 (打三)、笠原 (金八)、けやき台 (木八)、金砂郷 (打三)、水戸二 (CI 三)	水海道西 (CI 三)、御所ヶ丘 (FI 三)、竜ヶ崎一附属 (木八)、千波 (打四)、茗溪学園 (打四)、水海道 (金五)、多賀 (木八)、並木中等 (木三)、東海 (金八)、笠原 (木三)、結城 (木三)、茨城キリスト教学園 (木三)、谷田部東 (金六)、水戸二 (打三)、けやき台 (打三)、結城南 (Sax 三)、谷田部東 (木六)、笠原 (打三)、守谷 (木八)、金砂郷 (FI 三)、三和ユナイテッド (CI 四)、東海 (打三)、茨城 (打三)、多賀 (金五)、谷田部東 (木六)	金砂郷 (木七)、田彦 (管七)、三和ユナイテッド (管八)、佐野 (木三)、土浦一附属 (Sax 五)、大野 (木四)、日立一附属 (木八)、旭 (管八)、磯原 (管七)、鹿島附属 (木四)、土浦二 (管七)、永山 (金七)、水戸一 (木五)、北浦 (管八)、江戸川学園取手 (木五)、けやき台 (金八)、江戸川学園取手 (木五)、けやき台 (金七)、古河二 (Sax 三)、銚田南 (木四)
高校生部門 朝日賞 常総学院 (Sax 四)	常総学院 (FI 四)、大成女子 (金八)、水戸一 (CI 四)、常総学院 (Sax 四)、霞ヶ浦 (木三)、取手聖徳女子 (木八)、大成女子 (FI 六)、銚田一 (木八)、水戸三 (CI 四)、常総学院 (CI 八)、取手聖徳女子 (打三)、土浦一 (打三)、水戸三 (Sax 四)	水戸二 (CI 三)、竜ヶ崎一 (木八)、大成女子 (木八)、水戸一 (打五)、霞ヶ浦 (打七)、並木中等 (打五)、古河三 (打五)、水戸一 (FI 四)、竜ヶ崎一 (金八)、明秀学園日立 (FI 四)、土浦一 (FI 三)、水戸二 (FI 三)、土浦二 (Sax 三)、茨城 (金八)、日立一 (打七)、下妻一 (打五)、土浦二 (CI 四)、古河三 (木七)、日立一 (Sax 八)、並木中等 (CI 四)、明秀学園日立 (CI 八)、茨城 (CI 七)	日立一 (FI 四)、銚田一 (金七)、日立北 (CI 五)、古河三 (金八)、茨城キリスト教学園 (木三)、多賀 (Sax 三)、水海道一 (木七)、古河中等 (CI 四)、牛久栄進 (木八)、土浦一 (Sax 五)、水海道一 (金五)、清真学園 (CI 三)、銚田一 (木八)
大学部門 朝日賞 茨城 (CI 四) 職場・一般部門 朝日賞 大成 (木六)	茨城 (FI 三)、茨城 (CI 四) 大成 (木六)、Lueur (木八)、Brillante (金八)、水戸三高 OB (FI 三)、古河シティ (打六)、古河シティ (Sax 四)、天王台雙峰 (木三)、“Legend Of Dragon” (金四)、BIE (金七)、水戸市民 (木四)	常磐 (CI 七)、茨城女子短期 (木五) 関城 (金四)、Lueur (打三)、古河三中 OB (CI 五)、白壁 (CI 三)、大成 (管八)、Lueur (金八)、取手交響 (金四)、塩! (Tb 四)、常陸太田市民 (木三)、土浦 (CI 三)、ひたちなか交響 (Tp 四)	常磐 (打三) 古河三中 OB (金八)、“Siren” (木三)、ひたちなか交響 (木三)、ひたちなかフィル (木三)、水戸一高 OB (金六)、阿見 (金八)、阿見 (FI 三)
▶第31回東関東アンサンブルコンテスト 令和8年1月24日、25日 千葉・千葉県文化会館			
小学生部門	村松 (木三)	村松 (金六)、常磐 (木五)、三の丸 (木五)	笠原 (金八)
中学生部門	下館南 (CI 四)、三和ユナイテッド (打七)	並木中等 (金八)、並木中等 (CI 五)、水海道西 (打三)	太子 (打四)、愛宕 (打三)
高等学校部門	常総学院 (FI 四)	常総学院 (Sax 四)、霞ヶ浦 (木三)	大成女子 (FI 六)、取手聖徳女子 (木八)、大成女子 (金八)、水戸一 (CI 四)
大学部門	茨城 (CI 四)		茨城 (FI 三)
職場・一般部門	古河シティ (打六)、Lueur (木八)	古河シティ (Sax 四)、大成 (木六)	水戸三高 OB (FI 三)、Brillante (金八)
▶第49回全日本アンサンブルコンテスト 令和8年3月21日 広島・広島文化学園HBGホール			

# 令和7年度県吹連後援 演奏会の記録

月	団体名	演奏会名	月	団体名	演奏会名
4月	取手交響吹奏楽団	第23回定期演奏会	11月	水戸ユースウィンドオーケストラ	第50回演奏会
	ひたちなか市民吹奏楽団	スプリングコンサート2025		常磐大学吹奏楽団	常磐大学吹奏楽団・TOKIWAおんぶの会 ジョイントコンサート
5月	茨城高等学校・大成女子高等学校	第11回ジョイントコンサート	12月	ひたちなか市民吹奏楽団	第41回定期演奏会
	県立緑岡高等学校	第17回定期演奏会		筑波大学吹奏楽団	第94回定期演奏会
6月	ひたちなか交響吹奏楽団	創団30周年記念第28回定期演奏会	1月	日立市民吹奏楽団	ポップスコンサート2025
	県立日立第一高等学校附属中学校	第51回定期演奏会		茨城高等学校・中学校	第66回定期演奏会
	県立鉾田第一高等学校附属中学校	令和7年度定期演奏会		茨城パルナツソウインドオーケストラ	第15回定期演奏会
	土浦吹奏楽団	第14回定期演奏会		リベルタウインズ	第15回定期演奏会
7月	県立水戸桜ノ牧高等学校	第31回定期演奏会	1月	結城吹奏楽団	第26回定期演奏会
	ひたちなかフィルハーモニーウインドオーケストラ	第2回定期演奏会		水戸市民吹奏楽団	第48回定期演奏会
8月	阿見吹奏楽団	第41回定期演奏会	2月	県立守谷高等学校	茨城県立守谷高等学校吹奏楽部&星友会ハルモニウム・ジョイントコンサート 2026
	水戸交響吹奏楽団	第28回定期演奏会		常陸太田市民吹奏楽団	第41回定期演奏会
	水城高等学校	第2回定期演奏会		茨城工業高等専門学校	NITIC Concert2026
	日立市民吹奏楽団	第41回定期演奏会		筑波研究学園都市吹奏楽団	午後の演奏会28
9月	水戸女子高等学校	第29回定期演奏会スプリングコンサート	3月	古河シティウインドオーケストラ	第16回ウインターファミリーコンサート
	県立下妻第一高等学校	第7回定期演奏会		ネモフィラ吹奏楽団	第2回定期演奏会
	筑波大学吹奏楽団	第93回定期演奏会		常磐大学吹奏楽団	第41回定期演奏会
	県立多賀高等学校	第8回定期演奏会		県立土浦第二高等学校	第27回定期演奏会
10月	県立太田第一高等学校	第30回定期演奏会	4月	県立水海道第一高等学校附属中学校	第32回定期演奏会
	古河シティウインドオーケストラ	第28回定期演奏会		下妻市立下妻中学校	第18回定期演奏会
	県立古河第三高等学校	第48回定期演奏会		ひたちなか市立勝田第一中学校	第42回定期演奏会
	大成ウインドアンサンブル「暁」	菖蒲華アンサンブルコンサート		県立土浦湖北高等学校	第6回定期演奏会
11月	常陸太田市内中学校	第29回常陸太田市内中学校吹奏楽部合同演奏会	5月	水戸内原吹奏楽団	第15回定期演奏会
	あゆなまみあな吹奏楽団	第13回定期演奏会		県立那珂高等学校	第31回演奏会
	茨城パルナツソウインドオーケストラ	ミュージアムの贈りもの vol.15		常磐大学高等学校	第34回スプリングコンサート
	つくば市立並木中学校	第5回サマーコンサート		愛♡I Wind Orchestra	第15回定期演奏会
12月	大成女子高等学校	第57回定期演奏会	6月	大成女子高等学校	第12回フレッシュバンドコンテスト
	古河吹奏楽団	第56回定期演奏会		筑西市立下館南中学校	第7回定期演奏会
1月	大成女子高等学校	第57回定期演奏会	7月	県立竹園高等学校	第41回定期演奏会
	東洋大学附属牛久高等学校	第60回定期演奏会		県立並木中等教育学校	第28回定期演奏会
2月	桜川市立真壁学園義務教育学校	2025サマーコンサート	8月	県立牛久栄進高等学校	第34回定期演奏会
	水戸内原吹奏楽団	サンクスコンサート		県立水戸第一高等学校	第50回定期演奏会
3月	ひたちなか市立佐野中学校	令和7年度定期演奏会	9月	聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	第37回定期演奏会
	ひたちなか市立田彦中学校	第34回定期演奏会		日立市立多賀中学校	第19回定期演奏会
4月	筑波研究学園都市吹奏楽団	第39回定期演奏会	10月	境町立境第一中学校	第32回定期演奏会
	水戸シンフォニックアンサンブル	第39回定期演奏会		阿見町立阿見小学校	スプリング・コンサート
5月	筑波大学吹奏楽団	アンサンブルコンサート	11月	三和ユナイテッド吹奏楽団	第1回定期演奏会

## 編集後記

広報委員長 古井 忍

ここ数年で、吹奏楽コンクールやマーチングおよびアンサンブルコンテストの部門名称が、「小学校、中学校、高等学校」から「小学生、中学生、高校生」に変わりました。「学校区分」で表していた名称が地域展開を見越した「年齢区分」になりました。名称は変わっても、100年近く続いてきた組織や形態を変えるのはたいへんなことだと思います。

学校現場では、知恵を絞り、地域と手を取り合っており、新たな活動形態を模索しています。その取り組みはまだ始まったばかりで、現在も続いています。

吹奏楽連盟の歩みを記録している「吹連いばらき」では、それらの取り組みを紹介しながら、応援していきたいと思っています。

### 広報委員

- 原田 純一 (県東地区長)
- 中村 進一 (県南地区長)
- 古井 忍 (県西地区長)
- 和田 秀彦 (県北地区長)
- 尾花 淳 (中央地区長)
- 田熊 典子 (事務局職員)